

## 貸借対照表(要旨)

科 目	平成18年度末	平成19年度末
現金及び預貯金	2,629	2,969
コールローン	5,500	2,500
買入金銭債権	2,489	4,458
金銭の信託	98	—
有価証券	178,802	165,397
うち公社債	92,938	96,194
うち株式	56,081	41,935
うち外国証券	28,844	26,477
貸付金	64,441	62,513
有形固定資産	10,993	10,680
うち土地	6,896	6,745
うち建物	4,014	3,847
無形固定資産	596	654
その他資産	2,531	3,136
繰延税金資産	—	129
貸倒引当金	△110	△106
<b>資産の部合計</b>	<b>267,972</b>	<b>252,334</b>

科 目	平成18年度末	平成19年度末
保険契約準備金	222,975	221,872
支払備金	1,551	1,432
責任準備金	217,529	216,701
社員配当準備金	3,895	3,737
その他負債	6,312	8,489
役員退職慰労引当金	—	7
偶発損失引当金	51	43
価格変動準備金	2,023	2,123
繰延税金負債	6,175	—
再評価に係る繰延税金負債	1,265	1,226
<b>負債の部合計</b>	<b>238,804</b>	<b>233,762</b>
基金	1,200	600
基金償却積立金	2,900	3,500
再評価積立金	4	4
剰余金	3,003	2,316
損失てん補準備金	59	64
その他剰余金	2,943	2,251
うち当期末処分剰余金	2,146	1,710
基金等合計	7,107	6,421
その他有価証券評価差額金	21,153	11,317
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	906	833
評価・換算差額等合計	22,060	12,150
<b>純資産の部合計</b>	<b>29,167</b>	<b>18,571</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>267,972</b>	<b>252,334</b>

## 損益計算書(要旨)

科 目	平成18年度	平成19年度
<b>①経常収益</b>	<b>34,588</b>	<b>35,518</b>
保険料等収入	25,702	26,537
うち保険料	25,685	26,523
資産運用収益	6,327	5,752
うち利息及び配当金等収入	5,062	5,131
うち有価証券売却益	610	355
うち特別勘定資産運用益	442	—
その他経常収益	2,558	3,228
うち責任準備金戻入額	—	827
<b>②経常費用</b>	<b>31,509</b>	<b>33,619</b>
保険金等支払金	24,021	25,077
うち保険金	8,102	9,255
うち年金	3,348	3,640
うち給付金	5,398	5,607
責任準備金等繰入額	33	12
資産運用費用	690	2,196
うち有価証券売却損	303	356
うち有価証券評価損	67	315
うち特別勘定資産運用損	—	1,197
事業費	3,299	3,238
その他経常費用	3,464	3,094
<b>③経常利益(=①-②)</b>	<b>3,078</b>	<b>1,898</b>
<b>④特別利益</b>	<b>187</b>	<b>111</b>
うち固定資産等処分益	187	109
<b>⑤特別損失</b>	<b>524</b>	<b>237</b>
うち固定資産等処分損	296	84
うち減損損失	152	45
うち価格変動準備金繰入額	66	100
<b>⑥税引前当期純剰余(=③+④-⑤)</b>	<b>2,742</b>	<b>1,773</b>
<b>⑦法人税及び住民税</b>	<b>727</b>	<b>919</b>
<b>⑧法人税等調整額</b>	<b>△399</b>	<b>△777</b>
<b>⑨当期純剰余(=⑥-⑦-⑧)</b>	<b>2,414</b>	<b>1,631</b>

## 剰余金処分案

科 目	平成18年度	平成19年度
当期末処分剰余金	2,146	1,710
任意積立金取崩額	8	9
不動産圧縮積立金取崩額	8	4
退職給与積立金取崩額	—	4
<b>計</b>	<b>2,155</b>	<b>1,719</b>
剰余金処分額	2,155	1,719
社員配当準備金	1,772	1,391
差引純剰余金	382	328
損失てん補準備金	5	4
基金利息	18	10
任意積立金	359	313
基金償却準備金	350	150
価格変動積立金	—	145
退職給与積立金	2	—
社会厚生事業増進積立金	6	6
不動産圧縮積立金	0	12

## 有価証券の含み損益(一般勘定)

区 分	平成18年度末			平成19年度末		
	帳簿価額	時価	含み損益(注1)	帳簿価額	時価	含み損益(注1)
公社債	90,847	91,334	486	93,064	95,531	2,467
株式	22,224	50,399	28,175	21,885	37,098	15,212
外国証券	19,015	23,550	4,534	19,861	21,122	1,260
<b>その他共計(注2)</b>	<b>135,124</b>	<b>168,466</b>	<b>33,341</b>	<b>140,209</b>	<b>159,272</b>	<b>19,062</b>

(注1) 売買目的有価証券以外の有価証券のうち、時価のある有価証券等の含み損益相当額を記載しています。(注2) 「その他共計」には買入金銭債権等を含めています。

## 基礎利益

項 目	平成18年度	平成19年度
<b>基礎利益 A[①-②]</b>	<b>4,582</b>	<b>4,158</b>
<b>①基礎収益</b>	<b>35,637</b>	<b>37,088</b>
保険料等収入	25,702	26,537
資産運用収益(注1)(注2)	5,725	5,358
その他経常収益(注2)	4,208	5,192
<b>②基礎費用</b>	<b>31,054</b>	<b>32,929</b>
保険金等支払金	24,021	25,077
責任準備金等繰入額(注2)	3	12
資産運用費用(注2)	265	1,507
事業費	3,299	3,238
その他経常費用	3,464	3,094
<b>キャピタル損益 B</b>	<b>230</b>	<b>△298</b>
<b>臨時損益 C</b>	<b>△1,734</b>	<b>△1,961</b>
<b>経常利益 A+B+C</b>	<b>3,078</b>	<b>1,898</b>

(注1) 資産運用収益には、金銭の信託運用損益および売買目的有価証券運用損益のうち、利息及び配当金等収入に相当する金額を含めています。

(注2) 損益計算書上の資産運用収益・費用、その他経常収益および責任準備金等繰入額のうち、キャピタル損益および臨時損益に相当する金額を除いています。

## リスク管理債権額

区 分	平成18年度末	平成19年度末
破綻先債権額	14	16
延滞債権額	161	144
3ヵ月以上延滞債権額	—	—
貸付条件緩和債権額	280	262
<b>合計</b>	<b>456</b>	<b>423</b>
(貸付残高に対する比率)	0.71%	0.68%

## 基金等変動計算書(要旨)

項 目	基金等合計					うち 評価・換算差額等合計			純資産合計	
	基金	基金償却積立金	うち基金償却準備金	うち当期末処分剰余金	剰余金合計	うち 有価証券評価差額金	うち 土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
前事業年度末(平成18年度末)残高	1,200	2,900	400	2,146	3,003	7,107	21,153	906	22,060	29,167
当事業年度(平成19年度)の変動額										
うち 社員配当準備金の積立				△1,772	△1,772	△1,772				△1,772
うち 基金償却積立金の積立		600			600	600				600
うち 基金利息の支払				△18	△18	△18				△18
うち 当期純剰余				1,631	1,631	1,631				1,631
うち 基金の償却	△600					△600				△600
うち 基金償却準備金の積立			350	△350						—
うち 基金償却準備金の取崩			△600		△600	△600				△600
うち 土地再評価差額金の取崩				71	71	71				71
うち 基金等以外の変動額										
当事業年度(平成19年度)の変動額合計	△600	600	△250	△435	△686	△686	△9,835	△73	△9,909	△10,595
当事業年度末(平成19年度末)残高	600	3,500	150	1,710	2,316	6,421	11,317	833	12,150	18,571

## 格付

格付投資情報センター(R&I)	保険金支払能力格付け	格付
格付投資情報センター(R&I)	保険金支払能力格付け	<b>A+</b>
日本格付研究所(JCR)	保険金支払能力格付け	<b>A+</b>
スタンダード&プアーズ(S&P)	保険財務力格付け	<b>A-</b>
フィッチ・レーティングス	保険会社財務格付	<b>A+</b>
AMベスト社	保険財務力格付け	<b>A<sup>Excellent</sup></b>

「格付」とは、会社の収益力・財務状況などを、さまざまな角度から総合的に評価し、わかりやすい記号で表わしたものです。

※「保険金支払能力格付け」(R&I)は、保険会社の保険債務が約定通り支払われる確実性についての意見です。「保険財務力格付け」(S&P)は、保険契約の諸条件に従って支払いを行なう能力に関して保険会社の財務内容を評価した意見です。「保険会社財務格付」は、保険会社の財務力についての評価を表わすもので、保険契約者債務にかかる保険会社の支払能力に対して付与されます。

※左記の格付は、当社が依頼して取得したものです。

※格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推奨するものではありません。

※格付は、左記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります。

## ソルベンシー・マージン比率(注1)

項 目	平成18年度末	平成19年度末
<b>ソルベンシー・マージン総額(A)</b>	<b>55,190</b>	<b>43,624</b>
①基金等(注2)	5,385	5,019
②価格変動準備金	2,023	2,123
③危険準備金	9,095	7,169
④一般貸倒引当金	18	20
⑤その他有価証券の評価差額(税効果控除前)×90%	29,816	15,952
⑥土地含み損益×85%	3,703	4,348
⑦全期チルメル式責任準備金相当額超過額(注2)	—	6,800
⑧負債性資本調達手段等(劣後ローン、劣後債等)	1,000	1,000
⑨その他(税効果相当額等)(注2)	4,148	1,190
<b>リスクの合計額(B)</b>	<b>8,146</b>	<b>6,639</b>
⑩保険リスク相当額(注2)	1,960	1,361
⑪予定利率リスク相当額	1,209	898
⑫資産運用リスク相当額	6,438	5,230
⑬経営管理リスク相当額	193	162
⑭最低保証リスク相当額	59	60
⑮第三分野保険の保険リスク相当額(注2)	—	551
<b>ソルベンシー・マージン比率</b>	<b>1,354.9%</b>	<b>1,314.1%</b>

(注1) 上記は、保険業法施行規則第86条および第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

(注2) 保険業法施行規則等の改正に伴い、表示項目等の一部が変更されています。

- ・「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は、平成18年度末は「その他」に含まれています。
- ・配当準備金繰入額のうち翌期配当所要額を超える金額は、平成18年度末は「基金等」に、平成19年度末は「その他」に含まれています。
- ・「第三分野保険の保険リスク相当額」は、平成18年度末は「保険リスク相当額」に含まれています。

## 実質純資産額

項 目	平成18年度末	平成19年度末
<b>実質純資産額(注)</b>	<b>57,686</b>	<b>45,384</b>
(一般勘定資産に対する比率)	22.2%	18.5%

(注) 「保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令」第3条第2項の規定に基づき算出しています。